

# 「美容医療」の 基礎知識

Photo / Takahiro Ohamoto  
Text / Kazumi Nakajima

第12回 40代からは、もっときれい!

「めくるめく美容医療ワールドへようこそ!」

理想の美肌をかなえてくれる信頼度の高いクリニックと名医に出会うことは、美容医療初心者にとっても最重要課題。「治療」である以上、失敗や後悔と無縁とはいえない切れない。治療の第一歩であるクリニック選びで失敗しないために、心に留めておくべきこと、美容医療との関わり方を、現場をよく知る先生お二人に伺いました。

## TOPICS 2014年美容医療5大ニュース

今年、美容医療業界で話題となった出来事とは? どのようなことが起こったのか? いいことも悪いことも振り返りました。

### 1 ロドデノール含有化粧品 の安全性に関する調査

昨年、「医薬部外品有効成分「ロドデノール」の配合された製品の使用者のなかで肌色素斑(色白く抜ける状態)を生じた症例が確認され、各社が自主回収を行いました。現在、日本皮膚科学会では、どうしてこのようになったのか、どうすれば早期回復するのかといったさまざまな質問に、科学的な正しい回答ができるよう、「ロドデノール含有化粧品の安全性に関する特設委員会」を組織し、調査研究を行い、皮膚科医に4診療の情報を提供しています。

### 2 国内唯一認められたヒアルロン酸皮膚充填剤

ジュビダーム※ヒスタは、しわ治療法のひとつであるヒアルロン酸注入に用いられる注入剤です。厚生労働省による品質、有効性、安全性の厳しい審査を経て、今年3月に承認を受けた唯一の製品が「ジュビダーム※ヒスタ」です。薄らからムクのないヒアルロン酸ゲル(主成分)が含まれているため、より自然でなめらかな肌が開得ます。



### 3 フェイスリフトで後遺症、 品川美容外科を男女40人が集団提訴

「品川美容外科」や「品川スキンクリニック」で、フェイスリフト手術を受けた男女40人が「効果はほとんどない上に、痛みが酷いなどの被害を受けた」としてクリニック側に約8,800万円もの損害賠償を求めた裁判を東京地裁に起こしました。

### 4 厚生労働省から承認を受けた、 国内初かつ唯一の まつげ脱毛治療薬

日本では3月に厚生労働省によって製造販売が承認され、9月から使用できるようになりました。10月の時点で、「グラクシムビスタ※外用液剤 0.02% 5ml」は国内初唯一のまつげ脱毛治療薬として製造販売承認を受けた製品であり、まつげの「長さ」「太さ」「濃さ」を改善することが臨床試験で認められています。

### 5 ハイブリッドフラクショナルレーザー 「Halo(ヘイロー)」

最新のフラクショナルレーザーであるHalo(ヘイロー)、ふたつの波長(2,940nm, 1,470nm)を完全に混合させて治療(ハイブリッドフラクショナル)でできる世界初の技術を開発してあり、ブライニンゲッド(美白)、タインニグ(引締め)、リサーチエシグ(肌の入れ替え)などの効果がとめて得られ、輝く宝石のような肌「ジュエリースキン」へと導きます。



同世代だからと分る肌悩みは多いです。ホーミングドクターのような存在を心がけています。



めぐろ皮膚科クリニック  
深野祐子 院長

# Part 1

## 信頼度抜群の 美女医による特別対談 美容クリニックを 上手に活用するための 3カ条とは?



表理クリニック表参道  
片桐衣理 院長

施術メニューはすべて自分で試し、より具体的な説明がモットーです。入りのりの美の好みを探っていきます。

美容皮膚科-内科医。2001年、「表理クリニック」を開院。「ホーミングドクター」として美しく健やかに年齢を重ねる女性の意向に沿った方針を、先端美容医療で最新型にサボーン、オゾンテラピー、メイスペルミンの3つの開発も手がけたなど、多方面で活躍中。1児の母。

日本皮膚科学会専門医、医学博士。東京ワシントン大学、都内クリニックで皮膚科医としての経験を経て、今年8月にめぐろ皮膚科クリニック (<http://meguro-derma.jp>) を開業。一般的な皮膚疾患から美容医療まで、360度の「カウンセリング」を地方で実践者を要約。

### 美容皮膚科、美容外科専門のクリニックを

深野 表理先生、こんにちは。今回の対談のテーマは「美容クリニックを上手に活用する方法」ということですが、治療の第一歩であるクリニック選びで失敗しないためには、まずはどんなことに注意すべきかとおっしゃいます。

表理 あたまたま美容医療クリニックというところを選ばないと、①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

### 美意識を共有できる 医師をパートナーに

表理 症状だけでなく、ライフスタイルも考慮した上で、最適な治療を提案するドクターかどうかをチェックする

めて無感でもしっかりと説明してくれた。また、臨床経験に基づいた技術力(センスも含めて)が否かを判断する必要がある。その人の人の美しさ」とい

深野 イメージを明確に持つこと。患者さんがきちんと自分の意思を伝えることも重要で、おまじに差が出るということ。患者さんの要求がどの程度なのかを見極めて、着地点を見つけていくことができれば、治療のゴールがドクターとの間で合致するかどうか問題。そこで、最も大切なのが、カウンセリング。十分な時間を取ってくださり、そして、自分の治療の内容、根拠を確かめ、本当に自分がその治療を必要とするのかを確認していただく。患者さんのなかに美容医療に対する期待を抱いて来院される方もいらっしゃいます。美容外科とアンチエイジングはまったく違う医療です。一発逆転を狙わないでください。手遅れならともかく、美容皮膚科のメニューはドラッグストア、あくまでも自然な流れで上手に使うべきだと思います。表理 美容クリニックにはそれぞれ特徴があり、どんなクリニックにも得意分野があります。またひとつの疾患を改善するための方法がひとつとは限りません。女性にとって長持ちする可能性が高いのも、またアンチエイジングやクリニックが持つコアタとの相性やクリニックが持つコアタとの相性やクリニックが持つコアタとの相性をクリニックの対応、メニューや価格帯などを含めて総合的に自分と合っているかどうかを見極めて、納得するまでは契約しないこと。クリニックを選択があたり、患者さん自身も「自主性を持つ」ということが重要です。

### 美容クリニックを上手に活用するための3カ条とは?



### DRESSちゃんは見た! 聞いた! オフレコ読

- 1.ドクターとの十分なカウンセリングのうへ、相性や美的価値観、信頼できそうかを判断。
- 2.まずは、自分がどうなりたいたかのイメージを明確にし、コストもふまえ、どこまで治療したいのかラインを決めておくこと。
- 3.最終的に決めるのは、自分。自主性を持つこと。自ら情報収集して相場を知り、内容の比較をすること。特に即日施術は慎重に!

※①日本では医師免許があれば、専攻が何の専攻であっても美容医療を行うことができます。自分自身の大切な肌を預けるので、医師としての基礎を何年かで学び、どんな治療が得意か、受けたい施術内容と合っているかなどを事前に確認すること。平日はできず夜間のドクターが美容医療を行っているケースも……。 ※②国民生活センターによると、関東地方の40代女性は1日の下は除去さる5万円の広告を見てクリニックに行ったら、セールスマンが必ず説明をしてくれて手帳的なものをくれたり、「モニター手帳で50%お安く、今日でいい減額されない」と言われ断れなかったと訴えている……。美容医療はクーリングオフができていないことが多く、一旦契約すれば、無条件の返金は難しいのが現状。

※③医師に依頼したり、即日施術を希望する、経済力があること、リスクや無断の事前説明が適切にされていない、キャンセル料は高額なキャンセル料を請求されるケース……。ドクターの説明が納得するまでは、契約しないこと!

